

第5学年 表現「激しい感じの題材・群（集団）が生きる題材」

1 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	表現の行い方を理解するとともに、ひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとままとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容の特徴を捉えた練習や発表、交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	表現に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①表現の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ③題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをグループでひとままとまりの動きにして表現することができる。	①自己やグループの課題を見付け、課題の解決の仕方を選んでいる。 ②課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ③仲間と助け合おうとしている。 ④場の安全に気を配っている。

2 単元の指導と評価の計画

時間	1 (導入)	2 (習得)	3 (習得)	4 (習得)	5 (活用)	6 (まとめ)	
0 45	集合、挨拶、健康観察						
	オリエンテーション ・単元の流れ ・学習の進め方等	心と体をほぐす活動 ・体じゃんけん（相手を変えながら多くの友達と行う） ・グループで表現クイズ（題材は毎回準備する）					
		本時のめあてと評価項目の確認					
		心と体をほぐす活動	ひと流れの動き 小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなでやってみる。			ひとままとまりの動き グループごとに、表したいイメージが強調されるよう、はじめ、なか、おわりをつける。	
活動Ⅰ 「激しい感じの題材」 ・花火等	「スポーツの対決！」 ・緊張 ・感動	「火山」 ・静寂・噴火 ・流れ出す	「ジャングルの冒険」 ・発見・恐怖 ・希望	「ゲルニカ」 ・恐怖・残酷・怒り・不安 ・希望・自由 など			
活動Ⅱ 「群（集団）が生きる題材」 ・花火大会	・テーマに合わせて、イメージ（動き）を選ぶ ・ペア、3・4人のグループで行う ・場面のイメージを共有したり、即興で踊ったりする ・他のグループと見せ合いをする			・話し合い ・試し ・他のグループとの見せ合い			
振り返り、整理運動、健康観察、挨拶							
知・技	① (観・ICT)	② (観・ICT)			③ (観・ICT)		
思・判・表			① (観・ICT)	② (観察・ICT)			
態度	④ (観察)	③ (観察)		② (観察)		① (観察)	

3 本時案①【導入場面】（1時間目／6時間中）

(1) 本時のねらい

- ・表現の行い方を理解することができるようにする。
- ・場の安全に気を配ることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・表現の行い方について、言ったり書いたりしている。(知識・技能)
- ・場の安全に気を配っている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	<p>1 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2 オリエンテーション</p> <p>○単元の目標や流れ、学習の進め方を理解する。(端末活用①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用して、単元の目標(ゴールイメージ)や全6時間の流れ、学習の約束(安全面の注意点も含む)について説明する。 ・ペアやグループを確認する。 ・本時のめあてと評価項目を確認し、それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。 <p>めあて 表現の行い方を理解し、安全に気を配りながら運動に取り組もう</p> <p>評価 ・表現の行い方について、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ・場の安全に気を配っている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>○ゴールイメージを動画・写真等で可視化する。</p>
なか 30分	<p>3 心と体をほぐす活動</p> <p>【体じゃんけん→ダイナミックあっち向いてホイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①あっち向いてホイの体じゃんけんをさせる。 ・②「最初はグー」を「最初は回る」にして、ジャンプ回転をさせてあっち向いてホイをさせる。 ・③「あっち向いてホイ」の指差すところを逆方向に一度引かせて、よりダイナミックにする。 <p>4 活動Ⅰ 表現「激しい感じの題材」</p> <p>○行い方を理解し、いろいろな花火をひと流れの動きで即興的に表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火(線香花火・打ち上げ花火・仕掛け花火)について紹介し、その特徴を捉え、体を使って表現することを行い方の例として説明する。 ・花火をイメージできない児童に対しては、必要に応じて写真や動画を視聴させたり、補足説明したりする。端末活用② ・浮かんだイメージをペアで共有し、まとめさせる。 ・曲をかけ、ペアで即興的に踊らせる。 ・線香花火、打ち上げ花火、仕掛け花火の順で繰り返す。 <p>5 活動Ⅱ 表現「群(集団)が生きる題材」</p> <p>○「〇〇小学校 花火大会」のテーマで即興的に表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館全体を広く使ったり、周りの安全に気を付けたりして運動することを確認する。コーン等でエリアを示し、ぶつからないようにする。 ・曲を流し、即興的に花火を表現させる。 ・激しい動きや、緩急のある動きを称賛する。 ・指導者が撮影し、後で見返すことができるようにする。 <p>動画等の事前準備</p>	<p>おおむね満足(観察) 場の安全に気を配っている。</p> <p>十分満足 安全に気を配り、仲間に声掛けし促している。</p> <p>努力を要する児童への手立て 個別に安全面で注意点を再度確認する。</p> <p>おおむね満足(観察・ICT) 表現の行い方を言ったり書いたりしている。</p>

まとめ 7分	<p>6 本時の振り返り 端末活用③</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が撮影した「〇〇小学校 花火大会」の動画を視聴させる。 ・安全に気を配ることができたか、行い方は理解できたか等について端末で入力させる。手書き入力でもローマ字入力でもよいことを知らせる。 ・授業の肯定的評価や困りなどについては、テキストの色を指定して、記入させる。(評価がしやすい) <p style="text-align: center;">○学習支援ソフトの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで振り返りを共有した後、数名発表させ、全体で共有する。 <p>7 整理運動(ストレッチ)、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行い方を実際に見せながら整理運動を説明する。 ・健康観察でだけが、体調不良などの児童がいないか確認をする。 	<p>十分満足</p> <p>詳しく言ったり書いたりしている。</p> <p><u>努力を要する児童</u></p> <p>への手立て</p> <p>仲間に聞いたり、資料を見たりして取り組ませる。</p>
-----------	--	--

単元のめあてと6時間の流れの例

【単元のめあて】考えを伝えたり、認めたりしながら、即興的に踊ったりやひとままとまりの動きで踊ったりしよう

【1時間目】 表現の行い方を理解し、安全に気を配りながら運動に取り組もう

【2時間目】 仲間と助け合いながら、ひと流れの動きで即興的に踊ろう

【3時間目】 自分やグループの課題を見付け、解決のための活動を選びながら、踊ろう

【4時間目】 課題や解決のために考えたことを友達に伝えたり、それを認めたりして踊ろう

【5時間目】 グループで話し合ったことを簡単なひとままとまりの動きにして踊ろう

【6時間目】 これまでの学習を積極的に生かして、学級全体で一つの作品にしよう

○体じゃんけん(ダイナミックあっち向いてホイ!)の様子



(じゃんけん) ポン! あっち向いて~ ホイ!

○テーマからひと流れの動きへのイメージ



※参考1時間目のワークシートの項目の例

○行い方は理解できましたか
(よくできた できた できなかった)

○理解できたことについて詳しく書きましょう

○安全に気を配ることができましたか
(よくできた できた できなかった)

○安全に気を配ることに気付いたこと、考えたこと、友達にアドバイスしたことを書きましょう。

○今日、自分がたてためあてを書きましょう。

○ハートメーターを使った提出箱



3 本時案②【習得場面①】(2時間目/6時間中)

(1) 本時のねらい

- ・題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。
- ・仲間と助け合うことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。(知識・技能)
- ・仲間と助け合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8 分	1 集合、挨拶、健康観察 2 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて 仲間と助け合いながら、題材の特徴をとらえてひと流れの動きで思いのままに踊ろう 評価 ・題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。(知識・技能) ・仲間と助け合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	
なか 30 分	・本時のめあてと評価項目を確認し、それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。 端末活用① → ○ゴールイメージを動画・写真等で可視化	
	3 活動Ⅰ 心と体をほぐす活動【体じゃんけん→ジェスチャーゲーム】 ・学習の約束(安全面の注意点も含む)について再度説明する。 ・活動Ⅰでできた雰囲気を活動Ⅱにつなげるために本時のめあて等を扱った後に行う。 【ジェスチャーゲーム】 ※体じゃんけんは第1時を参照 ・グループの中の1人がジェスチャーをしてそれが何を表現しているのかを当てるゲーム ・ジェスチャーをする役の児童は交代し、全員ができるようにする。 ・共通の題を提示しジェスチャーをさせる。(例:動物、スポーツ、家事等)	おおむね満足 (観察・ICT) 題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 十分満足 メリハリをつけ、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 努力を要する児童への手立て 誇張したい部分はどこかを個別に尋ね、自分の思いを明確にさせる。
	4 活動Ⅱ 表現「激しい感じの題材」 ○「スポーツの対決!」のテーマで、その特徴を捉えてひと流れの動きで即興的に踊る。 ・グループで好きなスポーツを選ばせたり、曲を紹介したりする。 ※『青と夏』(Mrs. GREEN APPLE)の1番のみを活用する。 ※音楽素材を各グループで聞けるようにする。音楽素材は授業中のみ活用させるようにし、必ず授業終了後回収する。 端末活用② (著作権法第35条に留意する) 音楽プレーヤーとして活用 ・誇張したい部分は、スローモーションで表現する等、緩急を使って表現させる。スローモーションで表現する部分は、曲のサビの部分にするとよいことを知らせる。 ・スローモーションで表現するときに、顔の表情を意識するとより表現力が上がることも伝える。 ○互いにグループで表現したり、その表現を見たりして感想を伝える。 ・全グループを前後半に分けて、互いに表現を見合ったり、感想を伝え合ったりできるようにする。肯定的な発言は全体で紹介する。 ・激しい動きやスローモーションを使った緩急のある動きを称賛する。 ・指導者は活動の様子を撮影し、後で見返すことができるようにする。	おおむね満足 (観察) 仲間と助け合おうとしている。 十分満足 仲間と助け合うとともに、友達に声をかけて促そうとしている。

ま と め 7 分	6 本時の振り返り 端末活用③ ○学習支援ソフトの活用	努力を要する児童への手立て
	<p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が撮影した「スポーツの対決！」の動画を視聴させる。 ・仲間と助け合うことができたか、ひと流れの動きにして即興的に踊ることができたか等について端末で入力させる。手書き入力でもローマ字入力でもよいことを知らせる。 ・授業の肯定的評価や困りなどについてはテキストの色を指定して記入させる。(全体で即時共有等がしやすい) ・ペアで振り返りを共有した後、数名に発表させ、全体で共有する。 <p>7 整理運動(ストレッチ)、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行い方を実際に見せながら整理運動を説明する。 ・健康観察でだけが、体調不良などの児童がいないか確認をする。 	仲間と助け合うよさについて個別に考えさせたり、説明したりする。

スポーツシーンのひと流れの動きの例（野球の場合）



表情も大きかったね



○音楽素材を授業用として配布
(授業後、すぐに回収する)



この部分からスローモーションかな？



※参考 **2時間目のワークシートの項目の例**

- 題材の特徴をとらえてひと流れの動きで思いのままに踊ることはできましたか
(よくできた できた できなかった)
- 踊るときに特に気を付けたこと、頑張ったこと等について詳しく書きましょう
()
- 仲間と助け合うことができましたか
(よくできた できた できなかった)
- 仲間と助け合うことで考えたこと、友達にアドバイスしたことを書きましょう。
()
- 今日、自分がたてためあてとその振り返りを書きましょう。
()

3 本時案③【習得場面②】(3時間目/6時間中)

(1) 本時のねらい

- ・自己やグループの課題を見付け、課題の解決の仕方を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・自己やグループの課題を見付け、課題の解決の仕方を選んでいる。(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	<p>1 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2 心と体をほぐす活動【体じゃんけん→ジェスチャーゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現クイズの題材は毎時間変更する。 <p>3 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて 自己やグループの課題を見付け、解決の仕方を選びながら、題材の特徴をとらえてひと流れの動きで思いのままに踊ろう</p>	
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの課題を見付け、課題の解決の仕方を選んでいる。(思考・判断・表現) ・よりよく踊るための自己やグループの課題やその解決の仕方を意識して取り組む等、本時のめあてと評価項目を確認し、それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。(端末活用①) 	
なか 30分	<p>4 活動Ⅰ 「火山」のイメージづくり</p> <p>○思考ツール等を活用し、グループで「火山」のイメージを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末内に思考ツール(クラゲチャート、授業イメージ参照)を入れ、児童がそれぞれで「火山」のイメージを広げることができるようにする。(端末活用②) ・それぞれで広げたイメージをグループで共有し、「火山」のイメージを5つに整理させる。整理した内容は「グループ用チャート」に入力させる。 <p>5 活動Ⅱ 表現「激しい感じの題材」</p> <p>○「火山」のテーマで、思考ツールで共有した言葉等を基にひと流れの動きで即興的に踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントとして「ゆっくり小さく動く-素早く大きく動く」といったメリハリ(緩急・強弱)を意識して表現するように伝える。 ・急な動きの前には、「静止」を入れる等、直前の動きを意識してメリハリ(緩急・強弱)のある動きができるようにさせる。 ・グループの中でペアをつくり、言葉ごとに互いに表現したり、撮影したりさせる。 ・撮影した動画をグループ用チャートに添付し、チャートを見返しながら自分たちが表したいことをひと流れの動きで踊ることができるようにする。(端末活用③) ・残りの時間は、互いに撮影すること等で、グループ用チャートや自分たちの動きをよりよくする時間にする。 ・自己やペア、グループの課題を見付け、試行錯誤しながら解決の方法を選んでいる姿を称賛する。 ・指導者は活動の様子を撮影し、後で見返すことができるようにする。 	<p>おおむね満足(観察・ICT)</p> <p>自己やグループの課題を見付け、解決の仕方を選んでいる。</p> <p>十分満足</p> <p>解決の仕方を試行錯誤しながら選んでいる。</p> <p>努力を要する児童への手立て</p> <p>タブレット端末で撮影した動画を見返して課題を見付けさせたり、動きのポイントを示す等、解決の仕方を説明したりする。</p>

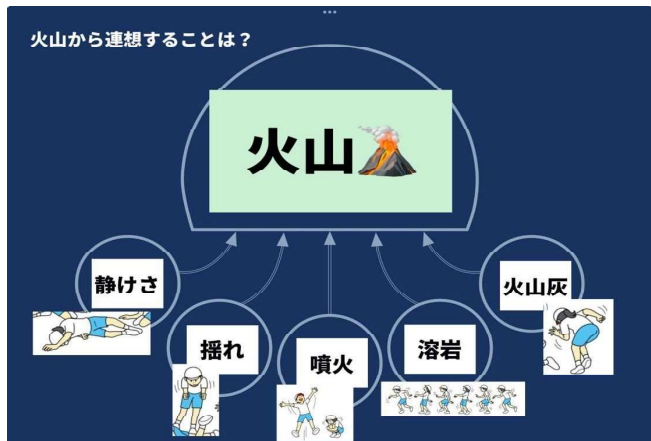
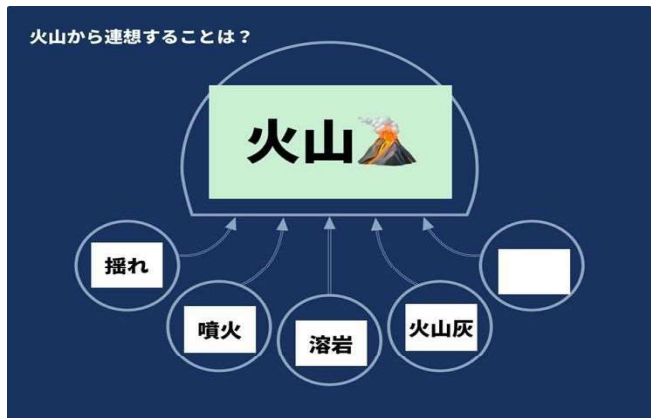
○ゴールイメージを動画・写真等で可視化する

1人ひとりの思考を可視化する

・1人ひとりの思考を生かし、ともに作成する
・思考したことを動作化する

ま と め 7 分	<p>6 本時の振り返り 端末活用④ ○学習支援ソフトの活用</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が撮影した「火山」の動画を視聴させる。 ・自己やグループの課題を見付け、解決の仕方を選ぶことができたか等について端末で入力させる。手書き入力でもローマ字入力でもよいことを知らせる。 ・授業の肯定的評価や困りなどについてはテキストの色を指定して記入させる。(全体で即時共有等がしやすい) ・ペアで振り返りを共有した後、数名に発表させ、全体で共有する。 <p>7 整理運動(ストレッチ)、健康観察、挨拶</p>	
---------------------------	--	--

授業イメージ



【引用】(挿絵) スポーツ庁ホームページ「小学校体育(運動領域)指導の手引～楽しく身に付く体育の授業～より」

※参考 3時間目のワークシートの項目の例

- 自己やグループの課題を見付け、解決の仕方を選ぶことができましたか
(よくできた できた できなかった)
- 課題を見付けたり、解決の仕方を選んだりするときに頑張ったこと、気を付けたことを詳しく書きましょう。
()
- 題材の特徴をとらえてひと流れの動きで思いのままに踊ることはできましたか
(よくできた できた できなかった)
- 踊るときに特に気を付けたこと、頑張ったこと等について詳しく書きましょう
()
- 今日、自分がたてためあてとその振り返りを書きましょう。
()

3 本時案④【習得場面③】（4時間目／6時間中）

(1) 本時のねらい

- ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- ・互いの動きや考えのよさを認め合うことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。（思考・判断・表現）
- ・互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 集合、挨拶、健康観察 2 心と体をほぐす活動【体じゃんけん→ジェスチャーゲーム】 3 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて ジャングル表現マップをつくりながら、課題の解決のために自己や仲間の考えたことを伝えたり、互いの動きや考えのよさを認めたりしよう 評価 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。（思考・判断・表現） ・互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）	
なか 30分	・友達と伝え合いながらジャングル表現マップを作成すること等、本時のめあてと評価項目を確認し、それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。（端末活用①）	
	4 活動Ⅰ 「ジャングルの冒険」のイメージづくり ○思考ツール等で、「ジャングルの冒険」のイメージをグループで広げる。 ・タブレット端末内に思考ツール（クラゲチャート、授業イメージ参照）を入れ、児童がそれぞれで「ジャングルの冒険」のイメージを広げることができるようにする。（端末活用②） ・それぞれのイメージをグループで共有し「ジャングルの冒険」のイメージを5つに整理し、その内容は「グループ用チャート」に入力させる。 ・互いに考えたことを遠慮なく伝えること、友達の考えや動きは認めたり、肯定的にアドバイスしたりするように声をかける。 5 活動Ⅱ 表現「激しい感じの題材」 ○「ジャングルの冒険」のテーマで、思考ツールで共有した言葉等を基にひと流れの動きで即興的に踊る。 ・「集まるー離れる」「合わせて動くー自由に動く」といった群の動きのポイントを意識して表現するように伝える。 ・グループの中で話し合った動き方を適宜確かめ、グループで表現できるようにさせる。 ・すべてのグループが踊っているため、撮影はスタンドに固定したタブレット端末で撮影する。撮影した動画をグループ用 PDF に添付し、PDFを見返しながらか自分たちが表したいことをひと流れの動きで踊ることができるようにする。（端末活用③）	おおむね満足（観察・ICT） 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 十分満足 自己や仲間の考えたことを詳しく伝えている。 努力を要する児童への手立て 伝えたいことを個別に尋ねて明確にさせたり、短い言葉や身振り手振り等、自分が伝えやすい方法を選ばせたりする。
	・1人ひとりの思考を生かし、ともに作成する ・思考したこと、伝え合ったことを動作化する	
	・残りの時間は、互いに撮影すること等で、グループ用 PDF や自分たちの動きをよりよくする時間にする。 ・自己や仲間の考えを詳しく伝えている児童、友達の考え等を認めた上で肯定的にアドバイスしている児童等を称賛する。 ・指導者は活動の様子を撮影し、後で見返すことができるようにする。	

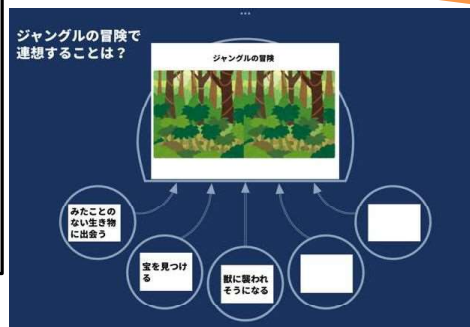
ま と め	6 本時の振り返り 端末活用④ ○学習支援ソフトの活用 ○本時のめあてに沿って振り返り、次時の見通しを持つ。 ・指導者が撮影した「ジャングルの冒険」の動画を視聴させる。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを伝えることができたか、友達の動きや考えのよさを認めることができたか等について端末で入力させる。手書き入力でもローマ字入力でもよいことを知らせる。	
	7 分 ・授業の肯定的評価や困りなどについてはテキストの色を指定して記入させる。(全体で即時共有等がしやすい) ○愛好度をハートメーターで確認 ・ペアで振り返りを共有した後、数名に発表させ、全体で共有する。	
	7 整理運動(ストレッチ)、健康観察、挨拶	

授業イメージ



PDF 素材を準備

「ジャングルの冒険」から、どんなことを想像できるかな？



クラゲチャートでイメージづくり



イメージした動きをペアで録画して挿入していこう！



【引用】(挿絵) スポーツ庁ホームページ「小学校体育(運動領域)指導の手引～楽しく身に付く体育の授業～より」

※参考 4時間目のワークシートの項目の例

- 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを伝えることができましたか
(よくできた できた できなかった)
- 伝えたことや伝えるために気を付けたこと等について詳しく書きましょう。
()
- 動きや考えのよさを認めることはできましたか
(よくできた できた できなかった)
- 動きや考えのよさを認めるときに気を付けたこと等について詳しく書きましょう
()
- 今日、自分がたてためあてとその振り返りを書きましょう。
()

3 本時案⑤【活用場面】（5時間目／6時間中）

(1) 本時のねらい

- ・題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをグループでひとまとまりの動きにして表現することができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをグループでひとまとまりの動きにして表現することができる。(知識・技能)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 集合、挨拶、健康観察 2 心と体をほぐす活動【体じゃんけん→ジェスチャーゲーム】 3 本時のめあてと評価項目の確認 めあて 「ゲルニカ」の絵から感じたことをグループでひとまとまりの動きにして表現しよう	
	評価 題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをグループでひとまとまりの動きにして表現することができる。(知識・技能) ・「ゲルニカ」の絵について説明し、本時のめあてと評価項目を確認する。 それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。 （端末活用①） ○ゴールイメージを動画等で可視化する。	
なか 30分	4 活動Ⅰ 「ゲルニカ」の絵のイメージの共有 ○「ゲルニカ」の絵を見て感じたことをグループで共有する。 ・絵を見て感じたことを、タブレット端末に書き込む。 （端末活用②） 学習支援ソフト内にある共有ノート等を活用 ・出されたイメージを「闇」と「光」等で整理させてもよい。 闇・・・苦しみ、怒り、憎しみ、悲しみ 等 光・・・希望、自由、正義、復活 等 ・互いに考えたことを遠慮なく伝えること、友達の考えや動きは認めたり、肯定的にアドバイスしたりするように声をかける。 5 活動Ⅱ 表現「激しい感じの題材」 ○「ゲルニカ」の絵で感じたこと、共有したことを基にひとまとまりの動きで表現する。 ・変化と起伏のある「はじめ—なか—おわり」等の構成にすることや前時までに学習した「集まる—離れる」「合わせて動く—自由に動く」等の群の動きのポイントを確認する。 ・共有ノートに出された言葉等を基に分担し、各担当者に大まかな動きを考えるようにさせる。その後、考えたことを共有し、グループでひとまとまりの動きで表現させる。 ※分担とひとまとまりの流れの例…①恐怖→②怒り→③絶望→④希望 ・全グループを2つに分け、互いに見合うことができるようにする。「ひとまとまりの動きになっているか」を見合う視点にし、互いに称賛したり、気付いたことを伝えたりさせる。 ・ひとまとまりの動きで表現できているグループ等を称賛する。 ・指導者は活動の様子を撮影し、後で見返すことができるようにする。	おおむね満足 （観察・ICT） 題材の主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをグループでひとまとまりの動きにして表現することができる。 十分満足 「はじめ—なか—おわり」等の構成がわかりやすく、ひとまとまりの動きにして表現することができる。 努力を要する児童への手立て グループで伝えたいことをすべて出させ、それらを自分たちがよいと思う流れに並べさせる。

ま と め 7 分	6 本時の振り返り 端末活用③ ○学習支援ソフトの活用	
	○本時のめあてに沿って振り返り、次時の見通しを持つ。 ・指導者が撮影した動画で示範となりそうなものを視聴させる。 ・「ゲルニカ」の絵から感じたことをグループでひとまとまりの動きにして表現することができたか等について端末で入力させる。手書き入力でもローマ字入力でもよいことを知らせる。	
	・授業の肯定的評価や困りなどについてはテキストの色を指定して記入させる。(全体で即時共有等がしやすい) ・ペアで振り返りを共有した後、数名に発表させ、全体で共有する。 7 整理運動(ストレッチ)、健康観察、挨拶	

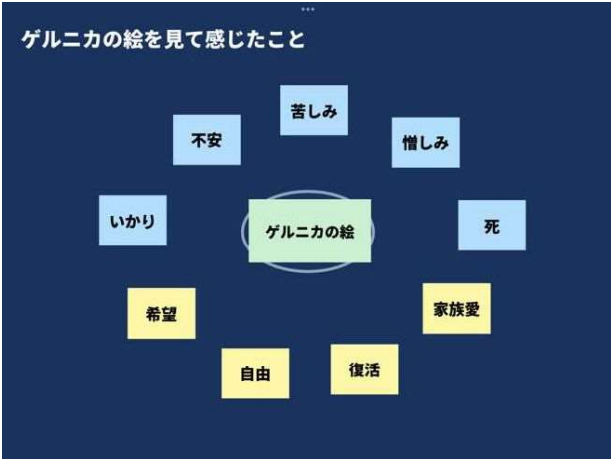
授業イメージ



この絵やその時の背景から、どんな言葉を想像できるかな？



共有ノート (マッピング) の例



※参考 **5時間目のワークシートの項目の例**

○「ゲルニカ」の絵から感じたことをグループでひとまとまりの動きにして表現することができましたか
(よくできた できた できなかった)

○ひとまとまりの動きにして表現するときに気を付けたこと等について詳しく書きましょう
()

○課題の解決のために自己や仲間の考えたことを伝えたり、その考えを認めたりすることができましたか
(よくできた できた できなかった)

○伝えたり、認めたりするために気を付けたこと等について詳しく書きましょう。
()

○今日、自分がたてためあてとその振り返りを書きましょう。
()

3 本時案⑥【まとめ場面】（6時間目／6時間中）

(1) 本時のねらい

- ・表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組むことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 集合、挨拶、健康観察 2 心と体をほぐす活動【体じゃんけん→ジェスチャーゲーム】 3 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて これまでの学習を生かして、グループや全体で表現する運動に積極的に取り組もう 評価 表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) ・これまで学習したことを想起させ、本時のめあてと評価項目を確認する。 それを基に自分のめあてをもたせ、タブレット端末に入力させる。 (端末活用①) ○ゴールイメージを動画等で可視化する。	
なか 30分	4 活動Ⅰ 曲に合わせてグループで表現する ○指定の曲と前時までにつくったひとまとまりの動き等を合わせてグループで表現する。 ・指定の曲を紹介する。(例：『呪われた力Ⅱ』、2分30秒、もののけ姫サウンドトラック、久石譲) ・動きの順番を決めさせたり、最後のポーズを考えさせたりする。(例：①恐怖→②怒り→③絶望→④希望→⑤ポーズ) ・前時で考えた動きを基に「繰り返し」や「付け加え(アレンジ)」等を行い、曲の感じや時間に合うようにさせる。 ・最後に、曲(2分30秒)に合わせて、各グループがつくった表現を発表したり、見学したりさせる。 ・見学したグループは、見た感想等をコメントさせる。(1グループの発表につき1～2グループがコメント) 5 活動Ⅱ 曲に合わせて学級全員で表現する ○グループごとに発表した動きを基に学級全員でひとまとまりの動きにして表現する。 ・各グループがスタートする位置と表現する場所を決めておく。他のグループと交錯してもよいが、ぶつからないように安全に気を配りながら表現するようにさせる。 ・最後は壁面(「ゲルニカ」の絵)の前に集まり、学級全体で絵のようにポーズをとらせる。絵の中の姿を真似してもよいことにする。 ・よりよい表現にしようと友達と熱心に話し合いながら積極的に取り組んでいる姿を称賛する。 ・学級全員で全体を通して表現する。 ・指導者は活動の様子を撮影し、後で見返すことができるようにする。	おおむね満足(観察・ICT) 表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。 十分満足 表したい感じやイメージについてグループで熱心に話し合いながら積極的に取り組もうとしている。 努力を要する児童への手立て これまで取り組んできたことを想起させたり、頑張りを伝えたりして意欲をもたせる。

